

# マレーシア語の存在・所有表現 —日本語の存在・所有表現との対照から—

新居田 純 野

## A Comparison of Existential and Possessive Expressions in Japanese and Malaysian Languages

NIIDA Sumino

### Abstract

This paper is concerned with Existential and Possessive expressions in Japanese and Malay. Existential and Possessive expressions in Japanese are classified into existence, possession, belonging, special characteristic, internal existence, external existence, subset(of the entire set), and event.

Although they have same expressional forms in Japanese, in Malay they are expressed by using 1. existential verb-*ada*-, 2. possessive verb-*mempunyai*-, and 3. S+V sentence construction.

After having compared these two languages, this paper shows the differences between these two languages. If the existing place is a living thing, the place is considered as a possessor. The other hand, if the existing place is not a living thing, the place is considered as a location. And at that time they use different verbs 'have; *mempunyai*' and 'there is; *ada*'.

キーワード：存在・所有表現 マレーシア語 日本語

### 1. はじめに

本稿では、日本語における存在・所有表現「がある」についてその意味的内容から「存在」「所有」「所属」「特性」「内在」「外在」「部分集合」「デキゴト」に分類し、その多岐にわたる意味的な内容に対してマレーシア語ではどのような表現形式で表わされるのか、どのような特徴があるのかについて考察していく。すでに新居田(2014)で日本語の存在動詞「ある」に関わるいくつかの立場、及び、日本語の「がある」構文の八分類について述べているため、本稿では日本語の「がある」構文の八分類について簡単に述べ、その日本語の分類をもとにしたマレーシア語での表現形式について、用例をあげながら考察を行う。

また、本稿で扱う存在・所有表現は肯定文のみを対象としている。

### 2. 日本語における存在動詞「ある」について

存在動詞「ある」については、これまでに多くの研究がみられる。それらの研究の流れについて、大塚(2004:112)には以下の四つがあげられている。

1. 形式動詞「ある」の研究
2. 存在動詞「ある」の研究 (『いる』との比較)
3. 状態動詞「ある」の研究 (アスペクト研究)
4. 機能動詞「ある」の研究

これらの研究の詳細については、大塚に詳しく述べられているので参照されたい。ここでは、2にあげられている存在動詞「ある」<sup>1</sup>について、「意味・用法の違いから共起する名詞の種類までを記述した研究」をもとに考察を進めていく。

新居田 (2014) では、新居田 (1998、1999a、1999b、2004、2006、2010) をもとに、「がある」構文を「YニXガアル」形式として、XとYの組み合わせ、および、XとYの関係から「Xがある／いる」のあらわす意味的内容を「存在」「所有」「所属」「特性」「内在」「外在」「部分集合」「デキゴト」の八分類し、その分類にそってタガログ語における存在・所有表現をみたが、本稿でもこの分類をもとにマレーシア語の存在・所有表現をみていく。

以下のように、日本語の「がある」構文を意味的内容から「存在」「所有」「所属」「特性」「内在」「外在」「部分集合」「デキゴト」の八分類としたが、これらがマレーシア語ではどのように表現されるかを第3章ではみていくことにする。

表1 日本語における存在・所有の表現形式と用例

分 類	意味的内容 構文形式	用 例
存 在	ある場所に具体物が存在する 存在場所ニ／ニハ 存在するモノガアル	机の上に本がある。 母親の隣に子供がいる。
所 有	具体物を所有する 所有者ハ／ニハ 所有するモノガアル	わたしには妻子がある。 私は家がある。
所 属	物や人が所属する 所属場所ニ／ニハ 所属するモノガアル	サンタクロースには白い長い髭がある。 その会社にはもうひとつ編集部があった。
特 性	所有者が固有の属性を有する 特性の持ち主ハ／ニハ 特性ガアル	彼女には爪を噛む癖がある。 そのブラウスに光沢がある。
内 在	ある物の内部に非恒常的な存在がある 内在の持ち主ハ／ニハ 内在するモノガアル	母親は子供に対する愛情がある。 彼は背中に痛みがあった。
外 在	時、空間、社会的生産物などが存在する 人やある枠組みニ／ニハ 外在するコトガアル	彼には仕事がある。 社会にはいろいろな規則がある。
部分集合	全体集合に部分集合が存在する (全体集合ニ／ニハ) 部分集合ガアル	鶏肉が嫌いだという人がいる。 若者に人気のあるフェイスブックというのがある。
デキゴト	時間軸上に局在してデキゴトがおきる (場所デ) デキゴト ガアル	今日は学校で英語のテストがある。 明日、港で花火がある。

### 3. マレーシア語における存在・所有表現について

マレーシア語における「存在」は基本的には存在動詞 *ada* で「*ada* + 存在物 + *di* + 存在場所」という構文形式をとる (用例 (3-1))。 *ada* を所有動詞としている文法書もあるが、本稿では日本語の「ある」に相当する存在動詞と呼ぶことにする。存在場所が主題化された「所在」は、所在場所が文頭におかれ、存在動詞 *ada* が *berada*<sup>ii</sup> となって表わされる (用例 (3-2))。

また、「所有」は基本的に所有動詞 *mempunyai*<sup>iii</sup> で「所有者 + *mempunyai* + 所有物」 (用例 (3-3)) という構文形式をとる。野元・モハメッド (2013: 332) では、「所有を表わす動詞には *ada* 「あ

る」、mempunyai「持つ」、memiliki「所有する」などがある」としているが、本調査では memiliki の用例は(3-4)の一例のみであった。

以下、日本語における存在・所有の表現形式との対照から、マレーシア語における存在表現について、現段階までに得られた調査用例<sup>iv</sup> および、これまでの先行研究をもとに考察をおこなう。

(3-1) Ada buaian di taman.  
swing in park  
公園にブランコがある。

(3-2) Encik Tanaka berada di makmal sekarang.  
Mr. Tanaka presents in laboratory now  
田中さんは研究室にいる。

(3-3) Dia mempunyai sebuah villa.  
3SG<sup>v</sup> a villa  
彼は別荘を持っている。

(3-4) Dia memiliki suara yang merdu.  
3SG voice REL sweet  
彼女の声にはつやがある。

### 3.1 「存在」

「存在」は存在動詞 ada を使って表わされるが、日本語の「ある」「いる」のような有情物か非情物かによる使い分けはない。構文形式は「ada + X (存在物) (+ di + Y (存在場所))」で、存在物 X が存在場所 Y に存在することを表わす。日本語の「に」格によって提示される存在場所は「di (標識辞) + 場所名詞」となる。

(3-5) Ada se-orang perempuan tua di hadapan rumah.  
a lady old in front house  
家の前におばあさんがいる。

(3-6) Ada basikal tiga roda kecil di tepi pintu hadapan.  
bicycle three wheel small by side gate front  
玄関の横には小さな三輪車があった。

### 3.2 「所有」

「所有」の表現形式は「Y + ada/mempunyai + X」となる。所有物 X が具体物の場合(金、別荘など)、所有者の意志を持って「所有する」という意味になる mempunyai が使用される傾向がみられた。また、所有されるもの X が人の場合、存在動詞 ada が使用される(用例(3-9)(3-10))傾向がみられた。これは、所有される人が存在することが人の所有ととらえられるからであろう。しかし、人の所有であっても、その所有される人の状況を説明する節によって修飾されると、その所有される人はもはやその人の意志によって存在するのではなく、所有物化しているとみなされ、所有動

詞の *mempunyai* が使用される (用例 (3-11) (3-12)) と筆者は考えた。また、「所有」は「存在」とは違い所有者に焦点があるため、所有者が主語となって文頭に置かれ、所有される人や物が存在動詞 *ada*、所有動詞 *mempunyai* の目的語となって、「存在」とは語順が異なる構文形式となる。被調査者によると、*ada* と *mempunyai* はほとんど同じ意味を持つが、*mempunyai* の方がより文語的であるということである。

- (3-7) Perempuan itu mempunyai rantai leher dan cincin yang cantik di rumahnya.  
lady that necklace and rings REL beautiful in her house  
その女は家に美しい首飾りや指輪を持っている。
- (3-8) Pakcik mempunyai wang yang begitu banyak.  
uncle money REL so much  
叔父にはたくさんの金を持っている。
- (3-9) Dia ada isteri.  
3SG wife  
彼には妻がいる。
- (3-10) Saya ada dua orang abang.  
1SG two person brother  
私は兄が二人いる。
- (3-11) Dia mempunyai seorang isteri yang bernama Tomoko.  
3SG a wife REL named Tomoko  
彼には、Tomoko という名の妻がいる。
- (3-12) Perempuan itu mempunyai seorang suami yang sangat kaya.  
lady that a husband REL very rich  
あの女性には大金持の夫がいる。

### 3.3 「所属」

「所属」は、所属場所と所属物が「全体と部分」の関係であれば、全体がその所属物を所有しているというとらえ方になって、「所有」と同様、主に *mempunyai* が使われる。同様に、所属するものの所属場所が組織などの枠組みの場合も、その組織が所属物を所有していると考えられる。しかし、用例 (3-17) のように、人が所属する場合には *ada* の用例がみられた。これも所有と同様、人が存在することが所属とみなされるのであろう。

#### 〈全体と部分〉

- (3-13) Santa Claus mempunyai janggut putih yang panjang.  
Santa Clause beard white REL long  
サンタクロースには白い長い髭がある。

(3-14) Rusa jantan mempunyai tanduk.

buck (hart) antlers

雄鹿には角がある。

(3-15) Meja ini mempunyai laci yang besar.

table this drawer REL large

この机には大きな引出しがある。

〈所属場所がある枠組みの場合〉

(3-16) Syarikat itu mempunyai jabatan editorial.

company that department editing

あの会社には編集部がある。

(3-17) Seksyen ini ada tiga orang lelaki dan lima orang wanita.

section this three men and five women

この課には三人の男性と、五人の女性がいる。

### 3.4 「特性」

「特性」は、特性の持ち主が特性を所有するというとらえ方で表わされ、主に mempunyai が使用されるが、ada の用例もみられた。

(3-18) Dia mempunyai kebolehan.

3SG ability

彼には能力がある

(3-19) Datuknya seorang yang mempunyai personaliti tersendiri.

his grandfather a person REL personality distinctive

彼のおじいさんは風格がある。

(3-20) Ikan paus mempunyai ciri-ciri khas yang dimiliki oleh semua mamalia.

whales characteristics particular REL possessed by all mammals

くじらには 哺乳動物の持つ特性がある。

(3-21) Dia mempunyai tabiat menggigit kuku.

3SG habit biting nails

彼女には爪を噛む癖がある。

人の特性ではなくコトの特性を表す場合、ada が使用される。これはコトはその特性を所有するのではなく、その特性がコトに存在するという捉え方からであろう。

(3-22) Suaranya ada sesuatu yang menyentuh dan menenangkan hati saya.

her voice something REL touches and calm heart my

彼女の話し声には、私の心にひびくやさしさがある。

### 3.5 「内在」

「内在」は mempunyai, ada と接頭辞 ber (所有) + 名詞が使用される。また、主部の状態という解釈で S+V (形容詞) で表わされる場合もあった。

(3-23) Dia mempunyai keyakinan.

3SG confidence

彼には確信があった。

(3-24) Dia ada hati hendak berkahwin dengan kamu.

3SG heart want marry with 2SG

彼女はあなたと結婚する気があるらしい。

〈状態：S+V〉

(3-25) Sudah lama tekak saya sakit dan tidak selesa.

already long throat 1SG pain and not comfortable

ずっとノドに痛みがあったり不快感があったりしていた。

(3-26) Terasa sakit yang tajam di dada.

felt pain REL sharp in chest

胸に鋭い痛みがあった。

### 3.6 「外在」

「外在」はある枠組み (社会や世界等) に外在的なことが存在する場合であるが、その枠組みが明示されない場合も多く、そのような「外在」の場合は「ada+X」となる。具体的な枠組みが示されているが、その枠組みが社会などの個人的な枠組みでない場合は「ada+X+di+Y」となる。また、個人的な外在に関しては、その外在物が外に向けられる「暇や用事」などの場合は「Y+ada+X」となった。さらに、個人的な所有につながる「仕事、経験、宿命」などの場合は「Y+mempunyai+X」と所有をはっきりと明示する mempunyai が使用される傾向が見られた。このことから、繰り返しになるが、ada と mempunyai との違いは、ada はモノが存在することで所有を表わすこととなり、mempunyai は所有していることを明示する動詞であることが伺われる。この意識は、日本語の「ある」と「持っている」との違いに非常によく似たふるまいだと考えてもいいだろう。

(3-27) Ada berbagai jenis peraturan di dalam masyarakat.

various type rules in society

社会にはいろいろな規則がある

(3-28) Ada enam, tujuh jam sebelum sampai pagi esok

six seven hours before until morning tomorrow

翌朝まで六、七時間ある。

- (3-29) Sebenarnya saya ada sedikit perkara yang hendak bercakap dengan awak.  
 actually 1SG a few things REL want talk with 2SG  
 実は私はあなたに少し話したい事がある。
- (3-30) Saya rasa dia ada masa untuk keluar sepanjang hari.  
 1SG suppose 3SG time to go out all day  
 彼女には一日中、外出する暇があったようだ。
- (3-31) Cikgu pulang awal kerana ada sesuatu yang perlu dilakukan di rumah.  
 teacher returned early because something REL needs to do at home  
 先生は家に用事があるとかで早く帰った。
- (3-32) Dia mempunyai pekerjaan.  
 3SG job  
 彼には仕事がある。
- (3-33) Dia mempunyai bermacam-macam pengalaman.  
 3SG various types experience  
 彼には様々な経験がある。
- (3-34) Mereka mempunyai sesuatu hubungan yang ditakdirkan sesama mereka.  
 3PL some kind relationship REL predestined among 3PL  
 彼らにはなにかしら因縁めいた関係がある。

「～したことがある＝～した経験がある」の場合は、(3-33)のように mempunyai で表わされる場合と、その経験を持つものが主語となって完了形 (perfect) で表わされる場合がある。

<完了形>

- (3-35) Saya pernah berlawan dengan kawan saya sewaktu kami pelajar sekolah menengah.  
 1SG ever fight with friend 1SG when we student school secondary  
 (had fought)  
 僕は中学生の頃、友達とけんかしたことがある。
- (3-36) Dia pernah datang ke Jepun dua tahun yang lepas.  
 3SG ever come to Japan two years which before  
 (had come)  
 彼は既に2年前に日本に来たことがある

### 3.7 「部分集合」

「部分集合」は、部分集合のみが示される場合は、全体集合となる枠組みは明示されず、関係節によって説明が加えられた人やものやコトなどが存在することを表わし、「ada + X + 関係節」となる。部分集合の属する全体集合が共起する場合は、全体集合である枠組みは di + Y となり、存在と同じ構文形式「ada + X + di + Y」となる。



〈枠組みが明示されない場合〉

- (3-37) Ada buku yang mahal, ada juga buku yang murah.  
books REL expensive, also books REL cheap  
値段の高い本もあれば、安い本もある。
- (3-38) Ada orang yang tinggi, ada juga orang yang pendek.  
persons REL tall also persons REL short  
背の高い人もいれば、低い人もいる。
- (3-39) Kebelakangan ini ada pelajar yang langsung tidak membaca buku  
recently this students REL at all not read books  
selain daripada buku teks.  
other than textbooks  
最近は教科書以外の本は一冊も読まない学生がいる。
- (3-40) Ada komputer yang pasti tidak akan rosak walaupun terjatuh.  
computer REL certain not will broken even if drop  
落としても絶対壊れないコンピューターもある。

〈枠組みが明示される場合〉

- (3-41) Ada juga orang sepertinya di antara guru-guru.  
also person like(3SG) among teachers  
教師の中には彼のような人もいる。

### 3.8 「デキゴト」

「デキゴト」はあるデキゴトが存在するというとらえ方から「ada+X (デキゴト)」となり、そのデキゴトの存在場所や時が共起する場合は、「ada+X (デキゴト)+di+Y (場所/時)」で表わされる。個人に関わる習慣的なデキゴト、繰り返されるデキゴトなどは、そのデキゴトの所有者がデキゴトとなる動作を行なったという捉え方から「S+V」となる。

〈ada+X (デキゴト) (+di+Y (場所/時))〉

- (3-42) Ada pesta.  
festival  
祭りがある。
- (3-43) Ada acara bunga api di sini pada musim panas.  
event firework at here in summer  
夏にはここで花火がある。
- (3-44) Ada bayi terbiar di hadapan hospital.  
baby abandoned in front hospital  
病院の前に捨て子があった。



〈S+V〉

(3-45) Saya terima panggilan telefon dari emak pagi ini.  
 ISG received call telephone from mother morning this  
 今朝、母から電話があった。

(3-46) Saya terima surat dari emak lagi.  
 ISG received letter from mother again  
 また母から手紙があった。

(3-47) Semalam adalah hari cuti tetapi sekolah masih buka.  
 yesterday was holiday but school still open  
 昨日は休日なのに学校があった。

### 3.9 まとめ

以上、用例とともに示したマレーシア語における各表現形式と意味的内容をまとめると表2のようになる。

表2 マレーシア語における存在・所有の表現形式

	意味的内容 表現形式	存在	所有	所属	特性	内在	外在	部分集合	デキゴト
I	Ada + X (+ di + Y)	○					○	○	○
II	Y + ada + X		○* 1	○* 2		○	○* 3		
III	Y + mempunyai + X		○	○	○	○	○* 4		
IV	S + V					○	○* 5		○* 6

\* 1 人が存在することが所有とみなされる場合

\* 2 人が存在することが所属とみなされる場合

\* 3 社会などの枠組みに関する外在

\* 4 個々の人に関する外在

\* 5 完了形で表わされる経験

\* 6 個人的なデキゴト

マレーシア語では、「存在」「外在」「部分集合」「デキゴト」は基本的にモノヤコトの存在ととらえられ、多くは「di+存在場所」の共起した形で存在動詞の ada によってその存在を表わされる。「所有」「所属」「特性」「内在」のほかに、個人的な外在物/デキゴトを持つ「外在」は所有動詞 mempunyai で表わされる。これはその存在物=所有物が人やある枠組みによって所有されているという捉え方によるものであろう。

### 4. おわりに

日本語とマレーシア語の表現形式をまとめると、3章より以下のようなになる。表3より、日本語では意味的内容から「存在」「所有」「所属」「特性」「内在」「外在」「部分集合」「デキゴト」に分類しているが、これらは基本的にはすべて「～がある」構文で表わすのが一般的である。そのため、意味的な視点から分類してなづけをするが、構文的な裏付けは弱いと言わざるを得ないだろう。しかし、マレーシア語では、存在動詞 ada と所有動詞 mempunyai、および S+V で表わし分けられている。これは、そのコトガラを「存在」ととらえるか、「所有」ととらえるかによって使い分けられており、さらに ada が使用される場合でも、その存在が所有につながると考えられるのであればその構文形

式は「所有者+ada+所有物」の形式となる。

したがって、その観点から日本語の「～がある」構文をみると、「Yハ」と主題化されている場合が対応していると考えられる。

そして、このことは、存在・所有表現の分類は存在物の存在場所、所有物の所有者という観点からなされるべきであることを示唆しているとも受け取れる。このように、各言語と日本語とを対照することで、日本語における存在・所有表現の分類についても再検証していく手がかりを得られるという点からも、今後さらに、各言語における存在・所有表現を詳細に分析し、対照比較していくことで、日本語の「がある」構文の意味的内容からの分類の再構築の提案をしていきたいと思う。

表3 日本語とマレーシア語における存在・所有の表現形式

意味的内容	日本語	マレーシア語
存在	Yニ/ニハ X ガアル	Ada + X (+ di + Y)
所有	Yハ/ニハ X ガアル	Y + mempunyai + X / Y + ada + X
所属	Yニ/ニハ X ガアル	Y + mempunyai + X / Y + ada + X
特性	Yハ/ニハ X ガアル	Y + mempunyai + X
内在	Yハ/ニハ X ガアル	Y + mempunyai + X / Y + ada + X / S + V
外在	(Yニ/ニハ) X ガアル	Ada + X (+ di + Y) / Y + ada + X / Y + mempunyai + X / S + 完了形(経験)
部分集合	(Yニ/ニハ) X ガアル	Ada + X (+ 説明: 関係節) / Ada + X + di + Y (全体集合が共起)
デキゴト	Yデ X ガアル	Ada + X (+ di + Y) / Y + ada + X (個人的なデキゴト) / S + V

【注】

- <sup>i</sup> この研究の参考文献は(寺村(1982)、高橋・屋久(1984)、金水(2003))などがある。
- <sup>ii</sup> 接頭辞 ber- は、動詞、名詞について存在や所有の意味を添える。ada だけで存在を表わすが、本調査の被調査者は所在表現に berada を使用した。
- <sup>iii</sup> マレーシア語では、語幹に多様な機能を持つ接辞をつけることにより、派生語を形成していく。mempunyai は語幹 punya(所有する)に接頭辞 me-(mem-) と接尾辞 -i がつき、me- 語幹 -i で語幹の意味を派生するのであるが、punya に関しては、慣用的に用いられていて、特に大きく意味を変えるものではない。野元・モハメッド(2013:332)によれば、「mempunyai と milik に能動態標識 meN- と適用標識 -i が付加したもの」で、さらに「語根 punya, milik は単独では所有の標識として用いられる。」とある。
- <sup>iv</sup> 本稿で用いたデータは、マレーシアのクアラランプール在住の30代後半の二名の女性による用例である。(調査期間：2013年8月～2014年3月、用例収集方法：一部直接対面で収集し、残りは日本語・英語をもとにした翻訳によって収集。)
- <sup>v</sup> 3SG : singular 3人称単数, 2PL : plural 2人称複数, REL : relative 関係詞

【参考文献】

鵜沢洋志(2007)「マレー語 文法テキスト」アジア・アフリカ言語文化研究所2007年度 言語研修。  
<http://www.aa.tufs.ac.jp/documents/training/ilc/textbooks/2007malay1.pdf>.

鵜沢洋志(2004)「マレーシア語の主語に関する一考察」『言語・地域文化研究』10, 東京外国語大学, pp. 141-155

大塚 望(2004)「『～がある』文の多機能性」『言語研究』125, pp. 111-142.

金水 敏(2003)「所有表現の歴史的変化」『月刊 言語』Vol. 32. No. 11, 大修館書店, pp. 38-44.

シャイク・オマー・モハメッド・山崎あずさ(2007)『オマー・アズーのマレー語講座』, めこん.

高橋太郎・屋久茂子(1984)「『～がある』の用法——(あわせて)『人がある』と『人がいる』の違い——」『研究報告集』5, 東京: 国立国語研究所, pp. 1-43.

寺村秀夫(1982)『日本語のシンタクスと意味 第I巻』くろしお出版。

- 新居田純野 (1998) 「人の所有を表す表現について——「人がある／いる」と「人をもつ」の両形式の分析から——」『言語学と日本語教育——実用的な言語研究の構築をめざして——』, くろしお出版, pp. 245-253.
- (1999a) 「局在 (locative) について——「ある」「いる」を例にして——」『国文学解釈と鑑賞』 1月号, 至文堂, pp. 85-94.
- (1999b) 『『ある／いる』構文の研究』博士論文. お茶の水女子大学。
- (2004) 「人の《特性》と《状態》をあらわす存在文「～がある」形式について」『日本語文法』 4巻2号, くろしお出版, pp. 202-213.
- (2006) 「存在動詞における「遠／近」「可視／不可視」」『国文学解釈と鑑賞』 1月号, 至文堂, pp. 164-173.
- (2010) 「シタコトガアルーシタ経験ガアル、シタ経験ヲモツとの対照から」『日本語形態の諸問題』, ひつじ書房, pp. 311-324.
- (2014) 「タガログ語の存在表現ー日本語の存在表現との対照からー」『類型学研究』 4号, 類型学研究会, pp. 13-33
- 野元裕樹・ウン・シンティ・ファリダ・モハメッド (2013) 「マレーシア語の所有表現 (データ)」『語学研究所論集』 第18号, 東京外国語大学, pp. 332-343.

#### 【付記】

本稿は2013年－2015年度文部科学省科学研究補助金（基盤研究C）「台湾原住民語および東南アジア、東アジア諸言語における存在・所有表現について」の助成を受けている研究に基づく。